

平成20年度
「認定事業場の品質管理向上のための人材養成」
事業報告書

目 次

1. 事業目的	1
2. 事業の内容（計画）	1
3. 事業の実施結果及び成果	2
4. 委員会	7
5. 成果物	7
6. 各講習会、研修会記録写真	9

1. 事業目的

認定事業場（証明事業場を含む。）は、船用機器の製造、改造・修理、整備及び船用品の整備について、国が行う船舶安全法に基づく検査の一部を代行する任務を有している。従って、これら事業場は、経済環境の変動、技術革新の進展等に的確に対応しつつ、常に法定要件を満足する品質管理体制を維持する責務が課せられている。加えて、国際的な ISO9001 による品質マネジメントシステムの導入が国際競争力を確保する上で不可欠な状況となっており、国際化にも対応した品質管理体制を構築、維持することが求められている。

このため、本事業では、法の要件に加え、ISO9001 や最新の品質管理システム（TQM:総合的品質管理）にも精通した人材の養成、確保を図り、技術者の世代交代にも対応できるように、船用機器の製造等工事管理者及び船用品の整備技術者の養成のための講習又は研修を実施する。

これにより、認定事業場制度の円滑な運用に資するとともに、船舶の安全航行及び人命の安全に寄与することを目的とする。

2. 事業の内容(計画)

船用機器の製造等認定事業場、膨脹式救命いかだ整備事業場及び GMDSS 整備事業場等の技術者に対する講習会・研修会を次により開催し、技術者の世代交代にも対応できるように人材を養成、確保する。

(1) 船用機器製造工事管理者品質管理講習・研修

神戸において製造認定事業場の技術者 40 名を対象に、講習 3 日、試験 1 日の講習会を実施する。

伊東及び大阪において船用機器製造工事管理者 60 名を対象に、3 日間の研修会を実施する。

(2) 船用機器修繕工事管理者品質管理講習・研修

東京及び福岡において船用機器修繕工事管理者 60 名を対象に、2 日間の研修会を実施する。

(3) 船用品整備技術講習・研修

① 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

小樽、東京及び下関において膨脹式救命いかだ整備技術者 100 名を対象に、学科及び実習を含む 2 日間の研修会を実施する。

② 降下式乗込装置整備技術研修会

尾道において降下式乗込装置整備技術者 30 名を対象に、学科及び実習を含む 2 日間の研修会を実施する。

③ 無線工学の基礎講習会

東京において 40 名を対象に、学科に関する講習 3 日、試験 1 日の講習会を実施する。

④ GMDSS 救命設備整備技術講習会

東京において無線工学の基礎試験合格者を対象に、学科及び実習を含む講習 4 日、試験 1 日の講習会を実施する。

⑤ GMDSS 救命設備整備技術研修会

東京及び大阪において GMDSS 救命設備整備技術者 100 名を対象に、学科及び実習を含む 1 日の研修会を実施する。

3. 事業の実施結果及び成果

(1) 製造関係

① 舶用機器製造工事管理者品質管理講習会

講習会には、27事業場から51名が受講し、講習3日及び試験1日の講習会を実施した。
48名が試験に合格した。

この結果、合格者には「製造工事管理者」の資格が本会から付与され、当該事業場の管理者(候補者)として品質管理の実務に従事することになった。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20.10.28(火) ～ H20.10.31(金)	神戸コンベンションセンター 神戸国際会議場 (神戸市)	講習内容 ①船舶の安全に関する法規と認定事業場の関係 ②認定事業場の組織と品質保証体系 ③認定事業場の品質保証活動 設計管理、製品の信頼性、生産管理、検査管理、 文書管理、教育訓練、内部監査等 試験 筆記試験 (受講者51名 合格者48名)

② 舶用機器製造工事管理者品質管理研修会

対象となる舶用機器製造工事管理者に対し受講を要請し、68名が参加した。研修は2会場(伊東及び大阪)で、3日間実施し、製造工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20.9.3(水) ～ H20.9.5(金)	ルネッサ赤沢 (伊東市) (受講者 25名)	研修内容 ①講義 品質管理体制強化に関する部門別役割 舶用機器システムの信頼性と摩耗対策 他山の石を砥石として使い、自己の品質管理 活動という石を磨く 船舶安全法規の動向等
H20.10.8(水) ～ H18.10.10(金)	ホテルコスモスク エア国際交流セン ター (大阪市) (受講者 43名)	②グループ討論 テーマ:「品質改善活動の効率を上げるための 方策について」、「購買品(外注品を含む)の 品質向上策について」「人材育成と製造工事管 理者の役割について」(選択) 同上 成果発表 同上 講評及び指導

(2) 修繕関係

① 舶用機器修繕工事管理者品質管理研修会

対象となる舶用機器修繕工事管理者に対し受講を要請し、18名が参加し、研修は2会場(広島及び東京)で、2日間実施した。

参加者全員が管理者更新試験に合格し、修繕工事管理者に相応しい品質管理技術の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20.9.24(水) ～ H20.9.25(木)	RCC文化センタ ー (広島市) (受講者 10名)	研修内容 ①講義 修繕に関する安全法規 修繕事業場における品質管理 (品質管理のあり方、品質管理の事例研究) 修繕事業場における環境管理 (国際規格認証制度の動向について) 海難事故に学ぶ (人材教育の重要性)
H20.10.22(水) ～ H20.10.23(木)	メルパルク東京 (東京都) (受講者 8名)	②技術交流会 テーマ:「修繕品質を高めるために」 ③レポート作成

(3) 船用品整備関係

① 膨脹式救命いかだ整備技術研修会

対象となる膨脹式救命いかだ整備技術者に対し受講を要請し、4地区（小樽、東京、尾道、下関）72名が参加した。

教材として新旧7形式（96SOLAS 適合新形式2型式、96SOLAS 適合3型式及び83SOLAS 適合2型式）の膨脹式救命いかだを使用して、2日間研修を行った。この中で、実ガス膨脹試験の他、接着修理の実技実習も取り入れ、接着技術に関する指導も行った。また、新形式いかだの折りたたみ、格納、積み付け等の実習、SARTのいかだへの艀装実習を実施した。実技実習の結果は、整備規程に基づいてメーカー講師のチェックが行われ、良好であった。

新旧型式の教材を使用したことにより、整備技量の維持、向上はもとより、我が国における膨脹式救命いかだ整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 6. 24(火) ～ H20. 6. 25(水)	小樽日専連ビル (小樽市) (受講者 8名)	講義 点検、整備、積み付け、整備上の留意点(在 来型いかだ、新型いかだ及びRFD-Toyo タイ プいかだ)、メーカーからの連絡事項等 実技 教 材：第1種いかだ、96SOLAS 新形式、 RFD-Toyo タイプいかだ及び架台 (教材数7型式) 技術内容：実ガス膨脹、折りたたみ、格納 及び積み付け、接着修理、SARTの艀装 質疑応答、品管からの連絡事項等
H20. 7. 29(火) ～ H20. 7. 30(水)	東京海洋大学越中 島キャンパス・越中 島会館 (東京都) (受講者 20名)	
H20. 8. 26(火) ～ H20. 8. 27(水)	ベイタウン尾道・セ ンターホール (尾道市) (受講者 20名)	
H20. 9. 17(水) ～ H20. 9. 18(木)	海峡メッセ下関・ア リーナ棟 (下関市) (受講者 24名)	

② 降下式乗込装置整備技術研修会

対象となる降下式乗込装置整備技術者に対し受講を要請し、31名が参加した。

メーカー2社3型式(74SOLAS、83SOLAS 及び96SOLAS 適合)の降下式乗込装置のうち、96SOLAS 適合品を教材にして、2日間にわたり船上及び整備事業場内における点検、整備に

関する指導を行った。96SOLAS 適合品の降下式乗込装置の整備は増えつつあり、また、構造も 74SOLAS 及び 83SOLAS 適合品より異なった部分もあり、整備に関する詳細な講師の実技指導に対し、質疑・応答も活発に行われた。整備技量の維持、向上はもとより、我が国における降下式乗込装置整備体制の維持、強化を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 8. 27(水) ～ H20. 8. 28(木)	ベイタウン尾道・ 総合センター (尾道市)	講義 83SOLAS 適合品と 96SOLAS 適合品の相違点 船上で行う点検と注意事項 S. Sで行う点検と注意事項 格納・積付けと注意事項 実技 教 材：96SOLAS 適合品 (スパイラル式2型式、ジグザグ式1型式) 技術内容：折りたたみ、格納及び積み付け 質疑応答、品管からの連絡事項等 (受講者 31名)

③ 無線工学の基礎講習会

講習会には、26事業場から37名が受講し、学科に関する講習3日、試験1日の講習会を実施した。28名が基礎試験に合格し、GMDSS 救命設備整備技術講習会参加の資格を得た。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 7. 8(火) ～ H20. 7. 11(金)	東京海洋大学越中 島キャンパス・越 中島会館 (東京都)	講義 電気・磁気・電波工学の基礎 情報通信工学の基礎 電子回路の基礎 電気・電子・高周波計測の基礎 レーダの基礎 人工衛星による通信・測位の基礎 関連航法機器の基礎 基礎試験 (受講者 37名 合格者 28名)

④ GMDSS 救命設備整備技術講習会

無線工学の基礎講習試験合格者を対象に、学科及び実習に関する講習4日、試験1日の講習会を計画し、23事業場から28名が参加した。このうち、EPIRB に28名、SART に28名、双方向無線電話に27名がそれぞれ合格し、整備技術者の資格を取得した。今後、当該事

業場の整備技術者として就業することとなる。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 10. 6(月) ～ H20. 10. 10(金)	東京海洋大学越中島キャンパス 越中島会館 (東京都)	講義 船舶安全法及び電波法並びに同関係法令 GMDSS の概要 EPIRB の基礎と機器概要 SART の基礎と機器概要 双方向無線電話の基礎と機器概要 点検整備要領 整備施設及び測定器具の管理 実技 EPIRB、SART、双方向無線電話装置の整備 技量認定試験 受講者 28 名 合格者(EPIRB 28 名 SART 28 名 双方向無線電話 27 名)

⑤ GMDSS 救命設備整備技術研修会

対象となる GMDSS 救命設備整備技術者に対し受講を要請し、75 名が参加した。

研修受講者に対しては、整備にあたっての留意点、電波の誤発射防止に係る船舶乗組員に対する啓発事項並びに関連法規を周知するとともに、実機による指導を実施して整備技量の維持、向上を図ることができた。

実施日	場 所	実 施 内 容
H20. 10. 21(火)	東京海洋大学越中島キャンパス 越中島会館 (東京都) (受講者 26 名)	講義 船舶安全法及び同関係法令の改正事項等 機器整備上の留意事項 整備記録作成上の注意事項 実技 整備要領及び整備時の注意事項
H20. 11. 5(水)	大阪リバーサイドホテル (大阪市) (受講者 49 名)	整備要領及び整備時の注意事項

4. 委員会

事業の実施にあたり、学識経験者、その他関係者からなる委員会を設けた。

(1) 製造工事管理者品質管理講習・研修委員会

平成20年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、指導書の改訂、試験の方法、講習会・研修会の実施方法、講習会・研修会の結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

(2) 船用機器修繕講習委員会

平成20年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を3回開催し、講習会・研修会の実施方法、教材の作成、講習会・研修会の実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、試験小委員会を3回開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

(3) 船用品整備技術講習委員会

平成20年度事業計画に基づき、事業遂行にあたり委員会を2回開催し、講習会等の実施方法、実施結果等について審議、検討し、所期の成果を挙げた。

この間、いかだ小委員会3回、GMDSS小委員会3回を開催し、それぞれ講習会、研修会の実施方法、実施結果等を審議、検討した。また、整備試験小委員会4回を開催し、試験問題の作成、試験の実施方法、試験結果の評価等を審議、検討した。

5. 成果物

講習会等の実施手段として次の図書を作成した。

(1) 品質管理指導書

第1分冊 品質管理編 (A4版 134頁) 90部

第2分冊 法令編 (A4版 208頁) 90部

(2) 船用機器製造工事管理者研修会テキスト

「品質管理体制強化に関する部門別役割」 (A4版 23頁) 100部

「船用機器システムの信頼性と摩耗対策」 (A4版 31頁) 100部

「他山の石を砥石として使い、自己の品質管理活動という石を磨く」
(A4版 5頁) 100部

(3) 船用機器製造工事管理者 品質管理研修会 グループ討論のまとめ

(A4版 48頁) 130部

(4) 船用機器修繕工事管理者指導書

第1章 修繕事業場における品質管理 (A4版 78頁) 50部

第2章 修繕事業場における環境管理 (A4版 85頁) 50部

第3章 修繕に関する安全法規 (A4版 89頁) 50部

(5) 無線工学の基礎 テキスト

(A4版 214頁) 40部

(6) GMDSS 救命設備整備技術指導書

第1部 (A4版 248頁) 50部

第2部 (A4版 360頁) 50部

6. 各講習会、研修会記録写真

目次

- a 船用機器製造工事管理者品質管理講習会（平成20年10月28日～31日：神戸市）・・・10
- b 船用機器製造工事管理者品質管理研修会（平成20年9月3日～5日：伊東市）・・・11
- c 船用機器製造工事管理者品質管理研修会（平成20年10月8日～10日：大阪市）・・・12
- d 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会（平成20年9月24日～25日：広島市）・・・13
- e 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会（平成20年10月22日～23日：東京都）・・・14
- f 膨脹式救命いかだ整備技術研修会（平成20年6月24日～25日：小樽市）・・・15
- g 膨脹式救命いかだ整備技術研修会（平成20年7月29日～30日：東京都）・・・16
- h 膨脹式救命いかだ整備技術研修会（平成20年8月26日～27日：尾道市）・・・17
- i 膨脹式救命いかだ整備技術研修会（平成20年9月17日～18日：下関市）・・・18
- j 降下式乗込装置整備技術研修会（平成20年8月27日～28日：尾道市）・・・19
- k 無線工学の基礎講習会（平成20年7月8日～11日：東京都）・・・20
- l GMDSS 救命設備整備技術講習会（平成20年10月6日～10日：東京都）・・・21
- m GMDSS 救命設備整備技術研修会（平成20年10月21日：東京都）・・・22
- n GMDSS 救命設備整備技術研修会（平成20年11月5日：大阪市）・・・23

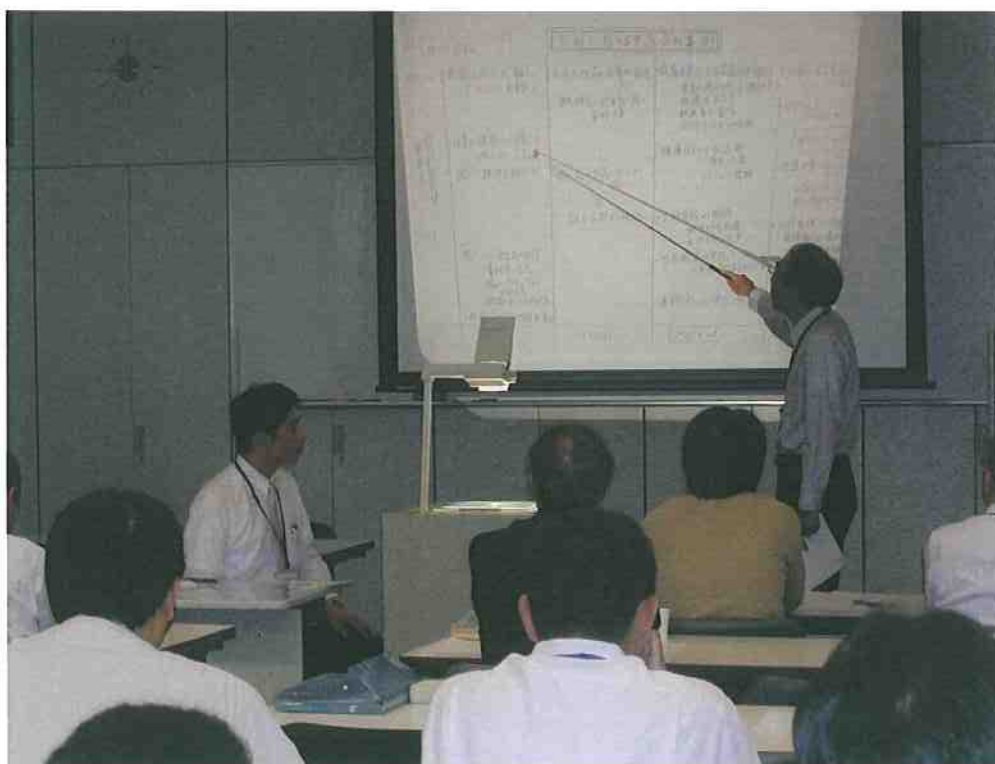
a 平成 20 年度 船用機器製造工事管理者品質管理講習会
(平成 20 年 10 月 28 日～31 日：神戸市)



b 平成 20 年度 船用機器製造工事管理者品質管理研修会
(前期 平成 20 年 9 月 3 日～5 日：伊東市)



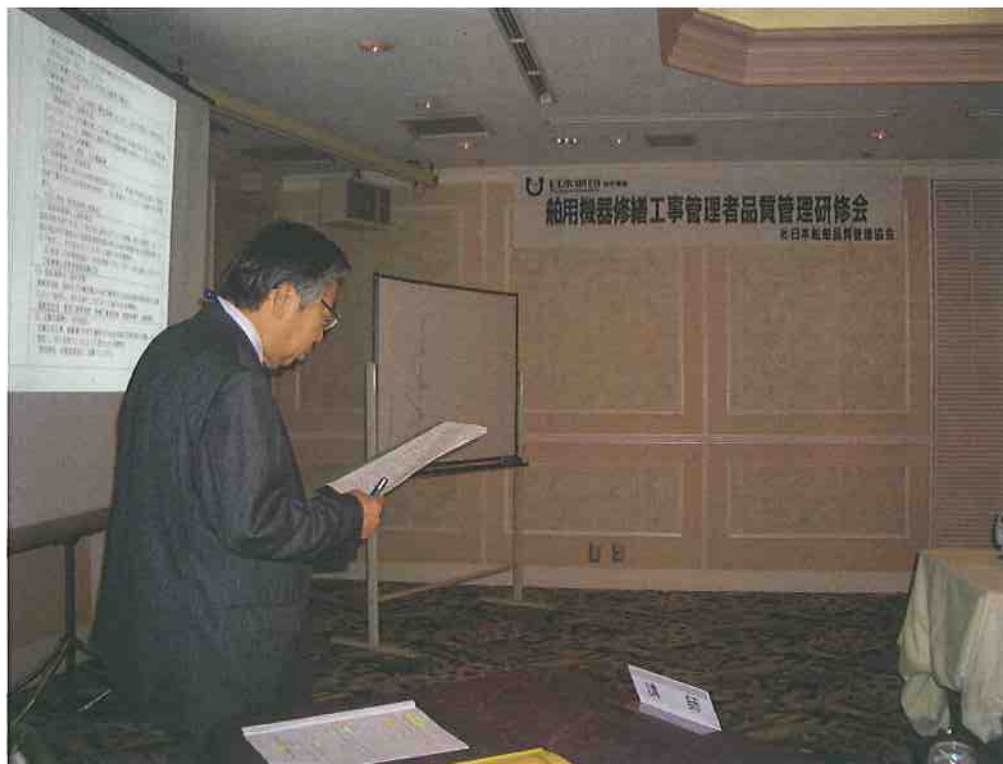
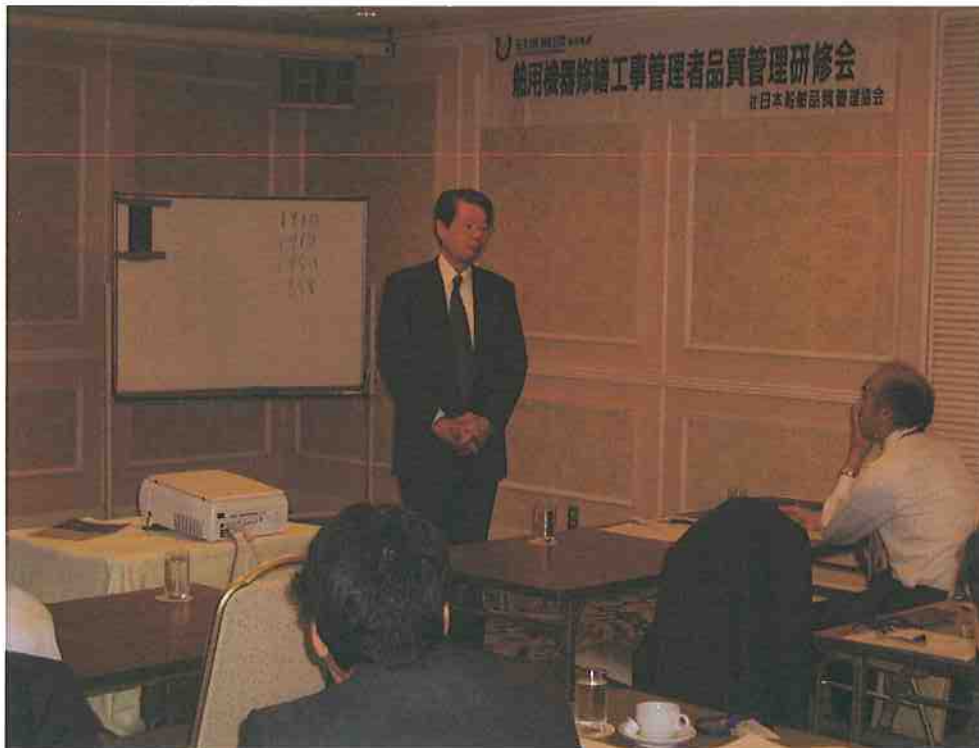
c 平成 20 年度 船用機器製造工事管理者品質管理研修会
(後期 平成 20 年 10 月 8 日～10 日：大阪市)



d 平成 20 年度 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会
(平成 20 年 9 月 24 日～25 日：広島市)



e 平成 20 年度 船用機器修繕工事管理者品質管理研修会
(平成 20 年 10 月 22 日～23 日：東京都)



f 平成 20 年度 膨脹式救命いかだ整備技術研修会
(平成 20 年 6 月 24 日～25 日：小樽市)



g 平成 20 年度 膨脹式救命いかだ整備技術研修会
(平成 20 年 7 月 29 日～30 日：東京都)



h 平成 20 年度 膨脹式救命いかだ整備技術研修会
(平成 20 年 8 月 26 日～27 日：尾道市)



i 平成 20 年度 膨脹式救命いかだ整備技術研修会
(平成 20 年 9 月 17 日～18 日：下関市)



j 平成 20 年度 降下式乗込装置整備技術研修会
(平成 20 年 8 月 27 日～28 日：尾道市)



k 平成 20 年度 無線工学の基礎講習会
(平成 20 年 7 月 8 日～11 日：東京都)



1 平成 20 年度 GMDSS 救命設備技術講習会
(平成 20 年 10 月 6 日～10 日：東京都)



m 平成 20 年度 GMDSS 救命設備整備技術研修会
(平成 20 年 10 月 21 日：東京都)



n 平成 20 年度 GMDSS 救命設備整備技術研修会
(平成 20 年 11 月 5 日 : 大阪市)

